

深仙宿付近の笹刈

◇実施日 7月2日(水)、3日(木)

晴後雨

◇参加者 藤原裕一郎

1名

深仙エリアの笹刈りと灌頂堂と小屋の掃除をさせて頂きました。午前9時頃太尾口に車を停めて、1泊2日分の食料と水分、更にはヘッジトリマーとミニ熊手、万が一、バッテリーが切れた時のために笹切りハサミをザックに背負い、まずは深仙まで歩きました。

暑さとザックの重量が案外堪えました。深仙に到着したらまず香精水をポリタンクに溜まるようにセッティングして、午後から釈迦ヶ岳へ向って笹刈りを始めました。

電動トリマーで草刈り自体、初めての経験だったので、何が危険かなど確かめながら、伸びた笹を刈っては登り、刈っては登り、熊手で掃除を繰返しました。足元が見えないところもあるので、万が一躓いて、トリマーの刃が当たらないよう、基本慎重に進めていきました。笹の高さ的にも中腰でやらざるを得ないので、結構身体に負荷かかりそうでしたが、17時頃まで作業して、釈迦ヶ岳と太尾へ向う分岐くらいまでは完了したので、今日はここまでにしました。夕飯を作り、小屋で持参した寝袋で身体を休めます。夜中、ネズミがウロチョロしており、睡眠の邪魔をされましたが、翌日は朝4時に起き、掃除から始めました。

使われていないタオルを濡らし、小屋の床を拭いたり、必要のない

物はゴミ袋に詰めました。ゴールデンウィークかどこかの連休で利用された方々の不燃物がいくつもあったので、綺麗に出来て良かったです。灌頂堂も、荷物を一ヶ所にまとめたり、こちらも使われていなさそうな物は処分させて頂きました。まだ祭壇のほうは埃だらけで、手を付けられずでしたが、最初よりスツキリして、役行者さんもなんとなくサッパリしたような気がしました。7時になり朝ご飯を食べ、今日は深仙から大日ヶ岳方面へ笹刈り作業。昨日で少し要領を得たので、スピードも上がってきました。大日と太古の辻の分岐点まで作業を進めたところで、少し空模様が怪しくなってきたので、下山の準備を始めました。帰りは、深仙から釈迦ヶ岳への道を通らず左側の隠し水方面へ。途中から小雨が降り始めてきました。が、稜線に出るころには雨も止み、駐車場へ到着。着替えをして車に乗り込んだと同時に土砂降りになったので、ギリギリセーフで帰路につきました。

今回の作業で学んだのは、ブヨ？か何かに咬まれまくって、身体のいたるところが腫れたので、次回は対策しないといけないなというのと、バッテリーを2個持つて行きましたが、このくらいの作業なら交換するほどでもなかったということと、あと今までの新宮やまびこの皆さんの大変な労力を少しでも共感できたことで、これから当たり前のような気持ちで道を歩くことは出来ないなと思えたこと、特に深仙は私にとっては聖地であるので、そう思うのであれば尚更、自分が定期的に作業に入らないといけないと感じました。

次は、太古から南へと作業を進める予定です。少しずつ有志を集めて、作業人数を増やしていこうと計画しております。